

文化芸術によるまちづくり座談会

第1回 座談会
9月29日(月)

町田市文化スポーツ
振興部文化振興課

〒194-8520
東京都町田市森野
2-2-22
TEL: 042-724-2184

町田市の文化芸術について話し合われる

第1回座談会

石阪市長、両副市長と有識者5名
で議論が進められる

2014年度、町田市は、文化芸術によるまちづくりについて、幅広い視野から意見を求めることを目的として、文化芸術によるまちづくり座談会(以下「座談会」という。)を立ち上げました。

9月29日に第1回座談会が開催され、「町田市外まで利用者圏を広くとらえ、町田に人を引き込むことが重要である」「町田のまちづくりに与える影響を考慮しホールの在り方を検討することが重要である」といった意見があげられ、闊達な議論がかわされました。最後に座長より『町田にはこのホールがある』と思えるものを考えていきたい』という、今後の議論の大きな方向性が示されました。

今後、座談会は、年度内に4回開催される予定です。(全5回)



委員へ委嘱状交付の様子



市長あいさつの様子

2014年9月29日に第1回文化芸術によるまちづくり座談会が市役所2階市民協働おうえんルームで開催されました。当日は、石阪市長、有金副市長、高橋副市長と学識者として市川宏雄氏、片山泰輔氏、美山良夫氏、文化芸術ホールの施設管理者として伊藤せい子氏、コンサート等の事業運営者として西茂弘氏の合わせて

8名と19名の市民傍聴者により開催されました。座談会は、①町田市の文化資源について、②町田駅周辺地区のまちづくりについて、③公立文化施設の結果たすべき役割について等がテーマとして設定され、専門的見地から検討を進めるために有識者を交え、新たな文化芸術ホール建設等の将来構想の実現に向けた議論を深

めることを目的としています。石阪市長のあいさつの中で、副市長が互選により選出され座長の進行のもと、議事が進められました。はじめに事務局より本座談会の位置づけと目的が説明されたのち、次第に沿って議事が進行し、委員による意見交換がおこなわれました。



会場の様子

5. 町田市の文化芸術ホール

② 町田市民ホール

- 小田急町田駅から徒歩7分
- 862席のホール・ギャラリー・会議室等
- 1978年開館。建物は築40年以上経過している
- 自主事業・貸館ともに実施している
- ホール稼働率89.5% (2013年度平均)



説明資料
(一部抜粋)

委嘱を受けた委員の紹介

役職	氏名	現職・略歴
自己紹介のひとこと		

座長	市川 宏雄	町田市未来づくり研究所所長、明治大学教授
「町田市の文化芸術がどういう立ち位置をとれるのか、周辺の自治体のなかでなるほど町田だと言われるようになるのかを考える必要があると考えている。」		
副座長	片山 泰輔	静岡文化芸術大学教授
「専門は財政学、文化芸術に対する公的資金の使う理論的根拠や公的支援、文化施設のあり方について研究している。町田市出身で自分のふるさとの文化振興に関わるといことで力になればと考えている。」		
委員	伊藤 せい子	江戸川区総合文化センター館長、サントリー・パブリシティ・サービス株式会社
「実際の劇場の運営面と、約30年間の立ち上げの経験から、現場で起こっていることを皆さまの参考としてお話したい。」		
委員	西 茂弘	株式会社オン・ザ・ライン代表取締役社長
「コンサートを制作から運営まで行うプロモーターという仕事をしており、年間で約200万人の動員に携わっている。事業者が利用しやすい施設を造り市の文化芸術を活性化してほしい。」		
委員	美山 良夫	慶應義塾大学教授
「文部科学省の政策評価委員を10年程仰せつかっていたこと、大学教員として慶應義塾大学でアート・センターの立ち上げ等に携わったこと、芸術の研究者として3つの側面から活動してきた。」		

● 議題1 「町田市の現状」

議題1 「町田市の現状」
では住宅都市であると同時に交通の要所であることから、市外までを利用者圏と捉えて広域的な視点でホールのあり方について検討していく必要性が認識されました。また、町田駅の利用者が非常に多いことから、ホールは駅からアクセスのよい立地であることが望ましいという意見について議論されました。

● 議題2 「文化芸術によるまちづくりにおけるホールの役割」

町田駅周辺のまちの更新も考慮してホールの位置づけを検討していく必要性が認識されました。また、人の交流が高まる施設になることを目指すと同時に、産業への影響も十分に検討していく必要があるという意見について議論されました。

● ポイント

あらたに建設されるホールは、市のシンボルとして市民の誇りとなる施設となること、事業の収支を考慮した安定運営を行うことなど、どういった点を重視していくのかについて

議論されました。「ホールの運営にあたっては、施設単体で収支をみるという考え方だけでなく、文化芸術ホールがあることによるまちづくりへの影響も考慮し、総合的に捉えるという視点を持っていくことも重要である」「新しく建設されるホールが町田のシンボルとなり、周辺にもそのように見えることが大切である。」という意見があげられました。



座談会の様子

3 時間に及んだ座談会の最後には座長より『町田にはこのホールがある』と思えるものを考えていきたい』というビジョンが示され、第1回座談会が終了しました。

■ 次回の検討内容(予定)
第2回座談会では、「文化芸術ホールとまちづくり」をテーマとして、他都市のまちづくりの事例等を踏まえ、町田市の現状にあったホールの在り方とまちづくりにおける位置づけについて議論します。